

愛は南から

愛南町の持つ魅力をご紹介します。
皆様からの掲載依頼など、気軽に情報をお寄せください。



東北地震 医師による健康相談室

東日本大震災の被災者の方々へインターネットを使って健康相談をしようと、本町国保一本松病院附属内海診療所の山内美奈先生が中心となって、地震翌日の3月12日に「東北地震・医師による健康相談室」を立ち上げました。

この「相談室」は、国内最大のコミュニティ型WEBサイト「mixi」を利用したもので、すでに全国で170人以上の医師が、ボランティアで様々な相談に応じています。「薬が流れてしまった」「通院していた病院がなくなった」などの相談から、「不安で眠れない」など「心のケア」の相談も寄せられています。

山内先生は、避難所や自宅などで医療的に孤立している多くの被災者の方々にこの相談室の存在を知ってもらい、多くの方に利用してもらいたいと話されていました。

編集後記

「外海浦のうち深浦(は)潮(が)一間半くらいも段付け押し掛け参り候につき、浦中(の人々は)急に高みの所へ逃れ候ところ、追々に(波は)浜辺へ打ち上げ、およそ家数百軒あまりのところ三十軒あまり残り、余は水中に相成る。多分は流失いたし候由。岩水浦は、家(が)三、四軒相残り候ばかりにて皆流失いたし、垣内浦、久良浦なども余程の痛みにて、家数余計相残らず。船越浦は、役人宅も潮(が)相掛り船一艘打ち上げ、納屋の屋根へ引っかかり、船、屋根ともに引き流し候」

この古文書は、伊達家に残る安政南海地震(1854年)の記録です。先日発生した「東日本大震災」の大津波の映像に酷似しているのには驚きます。「御荘町史」や「城辺町誌」などによれば何日も余震が続き、津波で海岸沿いの集落は家や家財道具が流されています。深浦では101名が舟の中で亡くなっていたそうです。甚大な被害をもたらした安政地震ですが、多くの人々は地震の後、身一つですぐに高い所に上って難を逃れていたようです。安政地震から150年近く前に起こった宝永地震(1707年)の教訓が言い伝えとして残っていたのでしょう。

奇しくも今回の地震は東北地方で起こりましたが、こちらでも起こることが予想されています。あの映像は未来の私たちの姿なのかもしれません。今回の震災で犠牲になった皆様のご冥福と被災された皆様の一日も早い復興をお祈りします。

愛南町の人口

平成23年3月1日現在

世帯数	10,933 戸
人口	25,271 人
男	11,821 人
女	13,450 人

■編集・発行

愛南町役場 総務課

〒798-4196愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲2420番地

TEL(0895)72-1211FAX(0895)72-1214

HP <http://www.town.ainan.ehime.jp/>

■印刷

明星印刷工業株式会社